

県スポ だより NAGANO

スポーツくじ



県スポだよりはスポーツ振興くじの助成を受けて発行しています



第42回北信越国民体育大会 県勢活躍

「県スポだより」は、
本会ホームページでもご覧いただけます。



<http://www.nagano-sports.or.jp/tayori/index.html>

CONTENTS

- ・第42回北信越国民体育大会 2
結団式及び監督会議・競技成績一覧
- ・スポーツ医科学サポート研修会開催 2
- ・全国高校総合体育大会関係 4
- ・全国中学校体育大会関係 5
- ・競技団体の紹介 6
長野県弓道連盟
- ・会議報告 7
令和3年度 第2回総務専門委員会・第3回理事会
- ・令和3年8月1日付 人事異動 7
- ・第32回オリンピック競技大会(2020/東京) 7
県内関係者成績
- ・東京2020D & I アクション 8
- ・第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会 8
愛称・スローガン募集

令和3年(2021年)
9月30日発行

第294号

第42回 北信越国民体育大会

【第42回北信越国体「結団式及び監督会議」が行われました】



第42回北信越国民体育大会長野県選手団結団式及び監督会議が8月5日、ホテル国際21（長野市）において開催されました。

長野県選手団の紹介の後、県旗が、今井義明・県教育委員会事務局教育次長から団長の小林武広・県スポーツ協会副会長へ授与され、小林団長から挨拶がありました。

引き続き、今井義明・県教育次長及び内山了治・県スポーツ協会競技力向上専門委員会委員長から激励のことばをいただき、総監督を務める北島隆英・県スポーツ課長から挨拶をいただきました。



次に、茅野繁巳・県スポーツ協会専務理事から宮澤輝・卓球成年男子監督へ激励品が贈呈された後、選手団を代表して、宮澤輝・同監督から決意表明がありました。



スポーツ医科学サポート研修会開催

第42回北信越国民体育大会長野県選手団結団式及び監督会議に含めて、スポーツ医科学サポート研修会が開催されました。

「コンディショニングについて」というテーマで、体力向上・スポーツ医科学専門委員の中澤卓実先生（長野県リハビリテーションセンター勤務）に講演していただきました。

ケガの予防や競技パフォーマンスの向上に必要な要素について、わかりやすく解説していただきました。



第42回北信越国民体育大会「競技成績一覽」

(丸数字が本大会代表権獲得)

種別	種目	順位	種別	種目	順位	種別	種目	順位
1 水 泳			11 ハンドボール ※2			22 剣 道		
少年男子	水球	4	成年男子		5	成年女子		①
女 子	水球	不参加	成年女子		2	少年男子		5
少年女子	アーティスティックスイミング	①	少年男子			少年女子		4
2 サ ッ カ ー			12 ソフトテニス			23 ラグビーフットボール ※2		
成年男子		3	成年男子		4	成年男子		
女 子		3	成年女子		4	女 子		3
少年男子		3	少年女子		①	少年男子		
3 テ ニ ス ※1			13 卓 球			24 スポーツクライミング		
成年男子		○	成年男子		②	成年女子		4
成年女子			成年女子		4	少年男子		5
4 ボ ー ト			少年女子		4	少年女子		①
成年男子	舵手つきフォア	4	14 軟 式 野 球			25 カ ヌ ー		
	シングルスカル	3	成年男子		4	スプリント	K-1 (カヤックシングル)	4
成年女子	舵手つきクォドルブル	4	少年男子		①	成年男子	C-1 (カナディアンシングル)	不参加
	ダブルスカル	4	15 馬 術			スプリント	K-1 (カヤックシングル)	不参加
少年男子	舵手つきクォドルブル	3	自馬競技	代表枠8獲得	1	成年女子	C-1 (カナディアンシングル)	不参加
	ダブルスカル	3	少 年	団体障害飛越	①	スプリント	K-1 (カヤックシングル)	5
少年女子	舵手つきクォドルブル	3	16 フェンシング				K-2 (カヤックペア)	4
	ダブルスカル	3	成年女子		3		K-4 (カヤックフォア)	不参加
少年男子	シングルスカル	5	少年男子		2		C-1 (カナディアンシングル)	③
	舵手つきクォドルブル	3	少年女子		①	C-2 (カナディアンペア)	不参加	
少年女子	ダブルスカル	2	17 柔 道			スプリント	K-1 (カヤックシングル)	不参加
	シングルスカル	②	成年男子		4	少年女子	K-2 (カヤックペア)	5
5 ホ ッ ケ ー ※2			18 ソフトボール			ワイルド	K-1 (スラロームカヤックシングル)	4
成年男子			成年男子		3	ウオーター	C-1 (スラロームカナディアンシングル)	不参加
成年女子			成年女子		①	スラローム	K-1 (ワイルドウオータカヤックシングル)	3
少年男子			少年男子		5	ワイルド	K-1 (スラロームカヤックシングル)	不参加
少年女子			少年女子		2		ウオーター	C-1 (スラロームカナディアンシングル)
6 ボ ク シ ン グ ※2			19 バドミントン			スラローム	K-1 (ワイルドウオータカヤックシングル)	不参加
成年男子			成年男子		5	26 ア ー チェ リ ー		
成年女子			成年女子		4	成年男子		①
少年男子			少年女子		3	成年女子		②
少年女子			20 弓 道			少年男子		2
7 バレーボール			成年男子		②	少年女子		4
成年男子	6人制	3	成年女子		②	27 空 手 道		
成年女子	6人制	5	少年男子		②	※自由選択による代表枠2は北信越地区空手競技会で決定。		
少年男子	6人制	②	少年女子		3	成年男子	形個人	②
少年女子	6人制	②	21 ライフル射撃			成年女子	形個人	①
8 体 操			成年男子	FR3×40	5	少年男子	形個人	①
成年男子	競 技	3	成年女子	FR60PR	5	少年女子	形個人	①
成年女子	競 技	3		AP60	不参加	28 な ぎ な た		
少年男子	競 技	③	成年女子	R3×40	②	少年女子	試 合	5
少年女子	競 技	②	成年女子	AR60W	5	29 ボ ウ リ ン グ		
少年女子	新体操	①		AP60W	不参加	成年男子		5
男 子	トランポリン	3	少年男子	AR60J	②	成年女子		3
女 子	トランポリン	②	少年男子	BR60J	不参加	少年男子		4
9 バスケットボール ※1			少年女子	BP60J	不参加	少年女子		不参加
成年男子		①	少年女子	BR60WJ	不参加	30 ゴ ル フ		
成年女子			少年女子	BP60WJ	不参加	少年男子		③
少年男子			10 ウェイトリフティング ※1					
少年女子		②	成年男子	代表枠1獲得	4			

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により競技会を中止とし、代替選考により順位が決定。

※2 第76回国民体育大会(三重県)の中止に伴い、競技会が中止。代替選考は行なわない。

令和3年度 全国高校総体「輝け君の汗と涙 北信越総体2021」総括

長野県高等学校体育連盟 理事長 大谷 雅亮

「走れ北信越の大地を とべ北信越の大空へ」の大会スローガンのもと、令和3年度全国高等学校総合体育大会が福井県を幹事県として北信越ブロック5県において、7月24日から8月24日まで開催されました。

昨年度の高総体は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により史上初の中止となり、それまで部活動に打ち込んできた高校生はその成果発表の場を失いました。参加生徒や関係者の安全・安心を第一に考えた上での決断とはいえ、生徒の皆さんにとっては本当にやり切れない言葉には表せない辛い決定となりました。

その後、新型コロナウイルス感染症についての知見の積み重ねが進む中で、高体連としては可能な限りの感染症対策をとって大会を開催することとし、長野県では、昨年冬の全国総体スキー・スケート競技に続き、この夏の全国総体柔道、テニス、水泳、少林寺拳法の4競技を開催しました。通常の大会運営に加えての感染症対策は、運営側にとっては大きな負担となりましたが、開催市町、各競技団体の皆様のご協力ご支援により、大会中の感染者の発生や感染拡大を一件も起こすことなく大会を成功させることができました。

長野県からは、県総体及び北信越大会を勝ち抜いた男子305名、女子243名が29競技に出場し、大会に参加し競技できる喜びや新型コロナウイルス感染症により出場を辞退した仲間や昨年涙を飲んだ先輩たちの思いを胸に精一杯

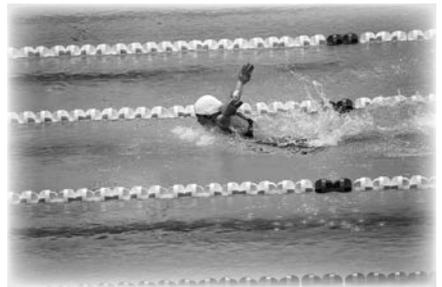
躍動する姿がみられました。

入賞数は、昭和47年以来最高の36を数え、全国高校総体と同時期に行われた全国高等学校定時制・通信制大会でも優勝1名を含む4名の入賞となっています。

地元開催競技をみますと水泳競技では、飯田女子高校山岸琴美さんが100m・200mバタフライで優勝し二冠を達成しました。柔道女子団体では松商学園高校が3位、個人戦63kg級では松商学園高校矢澤愛理さんが準優勝、テニス女子団体でも松商学園高校が3位に入賞しました。また佐久市で開催された少林寺拳法では、東海大諏訪高校浅川凰生君が単独演武で8位に入賞するなど、めざましい活躍をみせました。

コロナ禍で様々な制約を受ける中、精一杯の努力を重ねてきた選手やそれを支え導いた指導者や保護者の方々、また、指導者養成や選手育成、競技力向上にご尽力されてきた各競技団体の皆様に対し、心から敬意と感謝を申し上げます。

令和4年度には、指導者のインターハイと呼ばれる「全国高等学校体育連盟研究大会」が長野市で開催されます。「競技力の向上」「健康と安全」「部活動の活性化」をテーマに、全国の高校現場の指導者が集い、日頃の実践や研究の成果を発表し、当面する諸問題について情報交換する大会となります。大会後に発行される「研究大会紀要」を、皆様の今後の指導に役立てていただければ幸いです。



令和3年度全国高校総合体育大会 3位内入賞者一覧 [R3.7/24~8/24]

競技名	種目	順位	氏名	所属・学年	記録	競技会場
陸上競技	男子1600mリレー	3位	佐久長聖高校		3分13秒73	9.98スタジアム (福井県営陸上競技場)
陸上競技	女子5000m競歩	3位	中村 綾花	長野東高校3年	23分20秒25	9.98スタジアム (福井県営陸上競技場)
柔道	女子団体	3位	松商学園高校			長野市真島総合スポーツアリーナ (ホワイトリング)
柔道	女子63kg級	2位	矢澤 愛理	松商学園高校3年		長野市真島総合スポーツアリーナ (ホワイトリング)
テニス	女子団体	3位	松商学園高校			松本市浅間温泉庭球公園
体操	女子平均台	3位	國府方杏月	大町岳陽高校3年	14.200点	新潟県リージョンプラザ上越
新体操	女子リボン	3位	得能 澗	伊那西高校3年	14.900点	新潟市東総合スポーツセンター
弓道	女子個人	3位	石井 澗	松本県ヶ丘高校3年		上越市謙信公武道館 (新潟県立武道館)
水泳	女子100mバタフライ	優勝	山岸 琴美	飯田女子高校3年	58秒82	長野運動公園総合市民プール (アクアウイング)
水泳	女子200mバタフライ	優勝	山岸 琴美	飯田女子高校3年	2分08秒66	長野運動公園総合市民プール (アクアウイング)

令和3年度全国高等学校定時制通信制体育大会 3位内入賞者一覧 [R3.7/29~8/25]

競技名	種目	順位	氏名	所属・学年	記録	競技会場
陸上競技	男子400m	2位	岡田 遼人	松本国際高校3年	50秒21	駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場
陸上競技	男子800m	優勝	岡田 遼人	松本国際高校3年	1分55秒22 (大会新)	駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場

令和3年度全国中学校体育大会総括

長野県中学校体育連盟 事務局長 中島 行則

昨年度は中止となりました全国中学校体育大会ですが、今年度は関東ブロック1都7県において「関東の蒼空（そら）へと放て 君の夢」のスローガンのもと、8月17日～26日を会期として無事に開催されました。新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない中ではありましたが、選手たちの夢舞台のため、様々な対策を立てながら準備を進め、開催までこぎつけてくださった開催地実行委員会の皆様方のご努力に頭の下がる思いです。

今大会には県総体あるいは北信越大会を勝ち抜いた男子65名、女子77名、総勢142名が11競技に出場しました。優勝種目こそありませんでしたが、4つの準優勝をはじめ、多くの上位入賞がありました。

陸上競技の男子110mハードルでは、北信越大会を北信越中学新記録で制した中村駿汰選手（旭町）が2位に入賞しました。同じく決勝に残った小口蒼葉選手（諏訪西）も6位入賞となりました。県総体の女子100mで2年生ながら11秒台の県中学新記録を樹立した寺平祈愛選手（木祖）は残念ながら決勝に残れず、9位となりました。陸上競技は開催地である茨城県から、開会式前日になって参加者全員に、新型コロナウイルス感染症の陰性証明の提出を求められる、という予期せぬ事態となりました。県中体連陸上専門部と参加校が連携し、急な依頼でも検査を行ってくれる病院を何とか確保し、無事に選手27名全員が大会に出場することができました。競技成績だけではなく「チーム長野」の力強さ、団結力を実感しました。ご協力くださった医療機関の皆様へ感謝いたします。

水泳では北信越大会を大会新記録で制し、全中でも優勝の期待がかかった女子100mバタフライの清水花峰選手（三陽）が1位と0.04秒差の1分00秒22で惜しくも2位となりました。それでも、水泳のナショナル選手標準記録をクリアする好記録でありました。女子200mバタフライに出場した西村藍衣選手（裾花）は決勝進出を果たしましたが、予選より記録を伸ばすことができず、悔しさの残る8位入賞でした。

軟式野球に出場した佐久長聖中は、初戦で長崎の海星中と対戦。1－5で迎えた6回にチャンスをつかみ、1点差まで追いあげたものの、あと1本が出ず惜敗となりました。

体操競技には山田陽葵選手（村立松川）と吉澤萌々選手（大町第一）が出場しましたが、力及ばず上位入賞とはなりませんでした。

女子新体操団体は、北信越大会で優勝を果たした赤穂中が出場しました。令和元年度の4位を上回る結果が期待されましたが、わずかに及ばなかったものの5位入賞という素晴らしい結果を残しました。個人では渋谷美緒選手（赤穂）が9位、小林千奈乃選手（梓川）が15位、峰廣さくら選手（女鳥羽）が24位と健闘しました。小林選手は2年生のため、来年度の飛躍が期待されます。

女子バレーボールは久しぶりに北信越大会を県勢2チームが勝ち抜き、全中への出場を果たしました。東北中、阿智中とともに予選リーグを1勝1敗とし、決勝トーナメントに進出しました。1回戦で東北中は共栄学園中、阿智中は八王子実践中と共に東京勢に敗れる結果となりましたが、長野県勢が毎年出場している女子バレーの「伝統」を力強く守ってくれました。

ソフトテニス個人には男子2ペア、女子1ペアが出場しました。女子の義家・青木ペア（柳町）が3回戦まで進みましたが、埼玉県のペアに敗れベスト16となりました。

卓球個人には男子2名、女子4名が出場しました。いずれも全国の壁の厚さに跳ね返され、1回戦敗退となりました。

少子化の中、他競技に比べ選手数がほとんど減っていないソフトテニスと卓球は、選手層の厚さを生かした競技力の向上に今後も期待が持てます。

柔道団体は男女とも丘中が出場しました。男子は1勝1敗、女子は0勝2敗で残念ながら予選リーグ敗退となりました。個人戦では、北信越大会で8階級中6階級を制した女子が全国でも大活躍。44kg級の白金里桜選手（佐久長聖）が1年生ながら決勝に進出し、

延長戦で惜敗したものの見事に準優勝を果たしました。48kg級の我妻結風選手（丘）が3位入賞、52kg級の永田夢空（丘）と57kg級の鈴木ケイ選手（鎌田）が5位入賞を果たし、長野県の女子柔道のレベルの高さを示しました。男子では66kg級の青木義朗選手（丘）が3位に入賞しました。

剣道団体は男子の柳町中が1回戦で翔凜中（千葉）と対戦し、代表戦の末に惜敗となりました。女子は順調に勝ち進んだ松代中が、準々決勝で老司中（福岡）と対戦し、代表戦の末に破れたものの8強入りを果たしました。男子個人戦では2年生の川崎好誠選手（松代）が4回戦を勝ち上がり、準々決勝では惜敗したものの県勢個人戦としては快挙となる8強入りを果たしました。来年の更なる活躍が期待できます。

相撲団体に出場の木曾町中は、双子の林玲選手と林琉選手そして中谷良典選手の3名とも120kg前後の恵まれた体格。北信越大会での敗戦を機に奮起し、全国の舞台で圧倒的な強さを見せました。予選3試合を全て3－0で快勝し、その勢いに乗って決勝トーナメントも決勝まで勝ち進みました。鶴城中（熊本）との決勝戦は先鋒が勝ち、優勝に王手をかけましたが、惜しくも中堅、大将が敗れて準優勝。それでも1994年以来2度目となる快挙を成し遂げました。

2年ぶりとなった今回の全中大会では、競技に臨む選手たちのひたむきな姿が見られ、またそれを支える指導者の方々の熱意を感じ、改めて部活動やスポーツの持つ価値を実感することができました。

競技力の面では、本年度は前回（令和元年度）の入賞数9に対し、13という好成績でした。数年後に地元開催となる予定の国民スポーツ大会で、現在の中学生世代が活躍してくれるものと大いに期待をしております。

最後に、コロナ禍の困難な状況の中、大会を支え、選手たちを応援してくださった関係の方々へ御礼を申し上げ、総括とさせていただきます。

加盟競技団体の紹介

長野県弓道連盟

まぼろしの三重国体へ・弓道「長野」の面目躍如

長野県弓道連盟会長 まつしま ていじ 松島 貞治

今年は、長野県が北信越国体の開催県。第5波のコロナ感染拡大も心配されましたが、万全の対策の中で、弓道競技会も無事開催されました。国体弓道は、成年男女、少年男女の4種別があり、3人ずつでチームを編成、団体的中数で争います。毎年、本国体出場をかけてし烈な争いが繰り広げられる北信越大会です。本国体出場枠は、5県のうち成年男子は、3。残り3種別は、2。北信越のレベルは高く上位2チームに入るといのは大変なことです。しかし、長野県は、毎年、2種別以上は、本国体へ出場し国体貢献度は高いと自負しております。

今年の第42回大会でも、成年男女、少年男子の3種目で本国体への出場を決め、まさに面目躍如でした。ただ、決定の矢先、本国体の中止決定で、ほんとうに悔しく残念でなりません。

北信越5県の弓道人口は、学生、一般合わせ約1万5百人です。そのうち、長野県が4千4百人近いので約4割です。弓道人口から見れば、層の厚い長野県は有利と思われるかもしれませんが、そう簡単ではありません。本国体で入賞できない時期もあり、歴代会長、選手強化部が苦勞してきました。かつて、少年（高校生）は、学校単位で出場したこともあります。練習環境、チームワークなど好条件もありますが、単独校で全国レベルの選手を3人揃えるということは至難です。現在では、全県で予選を繰り返し、優秀な高校弓士を選抜する方法です。長野県の選手選考の特徴は、少年も成年も、ただ中ればいい、ということだけでなく、基本ができ、型の整った選手を選ぶという方針であることです。日本の武道は、戦う武術から己を鍛え、見つめる人間



形成の修行道になっています。そして、日本文化は、まず形から入り、技を鍛えながら心へと進んでいきます。やはり、技術だけでなく、立ち振る舞いや弓道に取組む姿勢など、心・技・体のバランスのとれた、美しく、見ている人に感動を与えるような行射（ぎょうしゃ）ができる選手が国体の舞台でも活躍してほしい、ということです。20年以上その方針の中で、選手選考、強化を進めてきましたが、以後その成果が現れているように思います。

今年の北信越弓道競技会は、県営飯田弓道場で開催されました。他県は、県立武道館に弓道場があり、そこで大会が開催されますが、長野県の県立武道館も佐久に完成したものの、残念ながら弓道場は併設されませんでした。2028年に開催予定の全国スポーツ大会（国体）の弓道競技も県営飯田弓道

場で開催されることが決まっております。弓道場そのものは、大変立派ですが、選手控室、監督会議等の会議室がなく、その施設整備が課題です。選手強化方針は、大きく変わることはありません。毎年、意欲ある高校生から少年の選手を選考しますが、その選手たちを、また惜しくも最終選考まで残れなかった選手たちが社会人となっても弓道を続けられる環境を作っていく必要もあります。成年男女も長い目で見ながらあと一歩という選手を育成強化していきたいと思っております。強化部に結集する指導陣は、そのために、自分の時間を削り、仕事以外のエネルギーをすべてつぎこんでいます。大変なことだと思いますが、きっと次の長野開催の国民スポーツ大会では花開くと信じております。

今年は、まぼろしの国体になりましたが、それでも北信越国体を経験し、一回り成長した選手たちが来年もまたがんばってくれることを切望しております。



会議報告

令和3年度 第2回 総務専門委員会・第3回 理事会 開催

[9月2日(木)]

第2回総務専門委員会が県スポーツ会館で開かれました。冒頭、正副委員長を選任した後、今回は特に、新型コロナウイルス感染拡大の影響による様々な報告や議案等について、審議されました。また、引き続き開催された理事会では、林理事長の挨拶に続き、理事長及び業務執行理事の職務の執行状況の報告の後、議案が審議され、すべて承認されました。



総務専門委員会



理事会

【報告事項】

- 1 第76回国民体育大会の中止について
2 第42回北信越国民体育大会の結果について
3 令和3年度補正予算の専決処分について
4 体力向上・スポーツ医科学専門委員会委員の選任報告について
5 専門委員会の委員長及び副委員長について
6 創立75周年記念事業について
7 賛助会員の状況について
8 公益法人認定法第27条第1項による立入検査の結果について
9 新型コロナウイルス感染防止「命と暮らしを救う集中対策期間」中のスポーツ大会等の延期・中止の検討のお願いについて

【協議事項】

- 1 競技力向上専門委員会委員の選任について
2 東京2020D&Iアクションへの参加について
3 中長期計画骨子(案)について

【その他】

- 1 今後の日程等について
2 加盟団体によるガバナンスコード適合状況に関する自己説明及び公表の実施状況について
3 第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会愛称・スローガンの募集について

令和3年8月1日付 人事異動 (事務局次長)

Table with 3 columns: Status (New/Retiring), Department (Nagano Prefecture Sports Bureau), Position (Assistant Director), and Name (Munakata Takahiro / Sawazaki Yohsuke).

第32回オリンピック競技大会 (2020/東京) 情報

【東京オリンピック開催】

第32回夏季オリンピック東京大会が、7月23日から8月8日まで開催されました。県内関係者の結果は、以下の通りです。

Table with 5 columns: Sport (陸上, 馬術, バドミントン, フェンシング, カヌー, 自転車, 野球, バレーボール), Event (男子マラソン, etc.), Name (大迫 隼, etc.), Result (6位入賞, etc.), and Affiliation (佐久長聖高出, etc.).

東京 2020D&I アクション

- 誰もが生きやすい社会を目指して -

東京2020大会は、その大会ビジョン「スポーツには世界と未来を変える力がある。」の基本コンセプトとして「全員が自己ベスト」「多様性と調和」「未来への継承」を掲げています。「東京2020D & I アクション -誰もが生きやすい社会を目指して-」も、これらの考えに基づいています。

新型コロナウイルス感染症による新たな差別や格差の拡大といった社会の分断が深まる中、大会に参画する多様な個性がある多くの人々が、自分らしさを発揮して、違いを認め合い、違いを活かしながら協力することのすばらしさを改めて認識する場が、東京2020大会です。

私たち一人ひとりには、人種、肌の色、性別、性的指向、性自認、障がい、言語、宗教、政治的又はその他の意見、国あるいは社会のルーツ、財産、出自やその他の身分などの理由による、いかなる種類の差別がなく、互いを認め合い、誰もが自分らしく生きられる共生社会を目指します。

東京2020大会を契機として、私たちの社会と未来に向けて何ができるかを考え、大会後も実践していくものとして、私たちのアクションを宣言します。

2021年9月2日

公益財団法人 長野県スポーツ協会
理事長 林 泰章

1 ジェンダー・LGBTQ

- ・ 女性理事の目標割合を設定し、達成に向けた具体的方策を検討する。
- ・ 女性やLGBTQのアスリートが自分らしくプレーできる環境を整備する。

2 障がい・心身機能

- ・ 健常者と障がい者が一緒にスポーツをする環境を増やす。
- ・ パラアスリートの競技力向上を図る競技団体を積極的にサポートする。

3 世代・ライフステージ

- ・ 様々なライフステージに合ったスポーツの参加方法を提供する。
- ・ アスリートの引退後のキャリアアップに必要な環境を整える。

4 文化・習慣・出自

- ・ 採用時等に出身地や国籍で判断しない。
- ・ 外国語を学び、外国人選手と積極的に会話する。

第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会

愛称・スローガン募集

令和10年（2028年）に長野県で開催予定の第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会（以下「大会」という。）は、全ての県民の元気と力を結集して、夢、勇気、感動などスポーツの持つ限りない力と、長野県の多彩な魅力を発信するとともに、スポーツを通じた元気な長野県づくりの実現を目指しています。

この大会の気運を高めるため、大会を象徴し、広く県民に愛されるような「愛称」と「スローガン」を募集します。

令和3年
募集期間 8月27日(金)～10月12日(火)まで

第82回 国スポ・第27回 全障スポ 長野県準備委員会事務局 愛称・スローガン募集係
<https://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/kokutai/82kokutai/top.html>

申し込みフォームへ

